



週報

入間ロータリークラブ



地区テーマ
友だちをつくろう

2020-2021 RI 会長:ホルガー・クナーク RI2570 地区ガバナー:相原 茂吉 会長:忽滑谷明 幹事:繁田光

第 10 号 3146 回例会 2020 年 10 月 1 日 (木)

<ビジター・ゲスト> 入間南ロータリークラブ

会長

西澤 正夫 様



入間南 RC 第 31 代会長を務めさせていただきます。幹事の清水とは中学・高校・大学の後輩でして苦難の一年間を共に乗り切ろうと頑張ってお参ります。お陰様で入間南 RC も 30 周年を迎えました。入間クラブの皆様と共に手を取合いこの町、入間の為に頑張ってお参りたいと思っています。是非とも変わらぬご指導宜しくお願い致します。

幹事

清水 洋行 様



入間南クラブの 30 周年記念も重要な式典ではありますが、難しい状況の中、合同例会は何とか調整を取って今年度中に、ご一緒に例会開催できるよう頑張っていきたいと思っています。ご協力よろしくお願い致します。

米山記念奨学生

ブサル・リラ バルラブ様

<<今月のお祝い>>

| | | |
|-------|---------------------------|----------------|
| 会員誕生日 | 山岸義弘君 一柳達朗君 | 金井祐一君 吉岡信人君 |
| 夫人誕生日 | 滝沢久美子様 | 繁田美香様 |
| 結婚記念日 | 吉田 勉 君 新井 格 君 荒井正武君 | 豊田義継君 一柳達朗君 |

<会長の時間> 忽滑谷明会長

10 月は「地域社会の経済発展月間」及び「米山月間」です。後ほど我がクラブの米山記念奨学生リラ君に卓話をいただきます。



現在、各 RC では地域社会の発展を支援する様々な活動に取り組んでいます。地元地域社会の真のニーズを見つけ出し、そのニーズを見極めたら、そのニーズに効果的に対応できるプロジェクトを計画し、そして実行するにあたっては地区や財団の補助金を利用したりして取り組むことが奨励されています。私は、2010 年(西川ガバナー年度)より地区役員として米山記念奨学部門に携わり、2014 年(坂本ガバナー年度)より 3 年間部門委員長を務めさせていただきました。採用奨学生の選考から終了式までほぼ毎月各事業を多くの奨学生と共に活動していると奨学生に対する愛情が湧いてくる共に、何とか日本で有意義な生活を送ってほしいという気持ちになりました。ロータリー米山記念奨学事業の特色は、世話クラブ、カウンセラー制度です。大学の所在する地区から一つのクラブが世話クラブとして選ばれ、世話クラブの会員の中から専任のカウンセラーが一人ついて日常の相談に乗ったりします。また奨学生は毎月一回世話クラブの例会に出席することが義務付けられており奨学金もそこで手渡されます。ロータリーの活動を通じて日本文化や地域社会と触れ合う様々な機会が提供されます。通常の留学生では知り得ない、奨学生にとってかけがえのない経験となると同時にロータリ

アンにとっても米山記念奨学事業の意義を実感し、理解を深める機会となっています。寄付の額が多いほどその地区の受け入れ奨学生の人数が増えます。是非引き続き多大なる寄付をお願い致します。

＜幹事報告＞ 繁田光幹事

第4回定例理事会報告 〈協議事項〉

1. 11月、12月のプログラム

11/5・11/17(木)18時より
繁田醤油西山荘ホール開催

2. 10月31日までクールビズ
〈報告・予定〉

①10/3 地区会員増強セミナー
忽滑谷会員

②10/17 第1回ロータリー財団セミナー
山根会員

③11/3 地区大会のご案内

④斎藤金作会員より退会届

⑤10月のロータリーレート105円



●委員長報告

[会報雑誌委員会] 白幡英悟委員長

ロータリーの友 10月号

◎横組み 3 ページ RI 会長メッセージ

多様な人々を歓迎し、機会の扉を開くためにツールを活用しましょうとあります。又、若き31歳のロータリアンの言葉の紹介で「大事なものはプライベートや仕事上の目標にロータリー活動を組み込むこと」というのが印象的でした。



◎横組み 13 ページ 今月は米山月間米山記念奨学会の記事があります。1ページ使って年表にまとめられていますので歴史を振り返ってみてください。

◎横組み 23 ページ 連載漫画ポール・ハリスとロータリー

今月号ではポール・ハリスが弁護士になるまでの5年間の後半部分、大理石販売員として過ごした時期のお話になっています。

◎横組み 33 ページ。エバンストン便り
アフリカの全47カ国で野生株ポリオウイルスの広がりが断ち切られたとのWHOの宣言が紹介されています。これにより、世界でポリオ感染が途絶えたことのないのはアフガニスタンとパキスタンだけになりま

したが、ポリオプラス基金に募金すればビルゲイツ財団も倍の金額を寄付してくれますので皆さんひとりひとりのわずかな額でも集まれば世界の子供たちを救えますので是非ご寄附お願いします。

◎縦組み 4 ページ。2500 地区 PETS 基調講演講師はコンビニのセイコーマート会長で地域密着型経営戦略が話の中心になっています。従業員を採用する時に会社の条件に合う人を選ぶのではなく、これからは会社が応募者のニーズに合わせていかなければならないという感想を述べています。

[プログラム委員会] 金井祐一委員長

11月2日の例会は入間南ロータリークラブの小林様に卓話をお願いしています。19日は水村雅啓ガバナーエレクトの激励会と夜間の懇親会を予定しております。皆様ご参加宜しくお願い致します。



[職業奉仕委員会] 木下登委員長

9/27 本庄市民文化会館において、地区職業奉仕・公共イメージ委員会合同セミナーが行われました。出席者は、入間ロータリークラブから水村ガバナーエレクト・忽滑谷会長・滝沢会員・私木下の4人で参加しました。本日のお客様、西澤会長にも参加して頂きました。

当日は、ソーシャルディスタンスのとれる会場で170名の参加でした。最初に、職業奉仕委員会セミナーが行われました。講師として、青年会議所に入っていた方は、よくご存じだと思います。大阪ロータリークラブ所属で更家悠介様です。

更家様は、1989年に日本青年会議所会頭をされ、いろいろな分野で活躍された方で、2014年には、第12回渋沢栄一賞を受賞されています。現在は、大阪維新の会会長をされています。職業は、サラヤ株式会社代表取締役でございます。



講演テーマは『資本主義の変遷と渋沢栄一』です。地元本庄市出身であります渋沢栄一氏の話から、経済状況、そして自社のサラヤ株式会社の話で、約1時間講演を頂きました。

職業奉仕・公共イメージセミナーの模様については、Youtubeで配信してありますので、後日ゆっくり見て頂きたいと思います。Youtubeの検索の仕方は、お手元にあります資料をご覧ください。

続いて、公共イメージ委員会セミナーが行われ、テーマとして『ニューノーマル時代の公共イメージ』です。内容としては、2570地区、地区大会や本庄ロータリークラブの例会や講演・社会奉仕活動が動画で紹介されています。この内容についても、Youtubeで配信してありますので見て頂きたいと思います。

何かご質問ありましたら、解る範囲内で木下がお答えいたしますので、お問い合わせ下さい。

<ニコニコBOX> 後藤健SAA

- ★本日はよろしくお祈りします。先日はありがとうございました。
「西澤正夫さま、清水洋行様」
- ★入間南ロータリークラブ西澤会長・清水幹事ようこそ入間クラブへ。
「忽滑谷明君、繁田光君、吉沢誠十君、後藤健君、豊田義継君、滝沢文夫君、木下登君、後藤賢治君、晝間和弘君」
- ★リラ君、今日は卓話宜しく!
「滝沢文夫君」
- ★秋季武蔵野市少年野球大会軟式で長男の所属するチームがベスト4になりました。
「一柳達朗君」

本日¥55,000 累計¥228,313

■回覧、配布物

- ①ロータリーの友 10月号
- ②2020-21 米山記念奨学事業豆辞典
- ③学友会特集号 米山学友の群像
- ④米山梅吉記念館賛助会入会のお願い
- ⑤2019年度事業報告書
- ⑥YouTubeの使い方(地区大会ライブ映像)
- ⑦他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑧入間クラブ週報9号

■■■講師卓話■■■ 米山記念奨学生ブサル・リラ バルラブ様

東京国際大学 商学研究科修士1年のリラと申します。今日は地元の話からネパールの紹介・文化等、来日後の話、留学の理由、日本に来て驚いたこと、日本から学んだこと、最後に学習以外の活動を話させていただきます。



私の地元はポカラに近い首都から171km、バスで5時間、インドとの国境線から近い田舎です。水道、電気は繋がっています。90%は農業に頼る地域です。

首都はカトマンズ、面積：14.7万平方キロメートル(北海道の約1.8倍)、人口2,900万人です。宗教はヒンドゥー教徒81.3%、仏教徒9.0%、イスラム教徒4.4%他で、仏陀はネパールで生まれました。68%が農業をやっています。

ネパールの基本の挨拶はナマステと言い、国旗は国連加盟195カ国で唯一、四角もしくは正方形ではなく、国旗に描かれた上の月は「平和」を、下の太陽は「光」を意味しています。世界で一番高い山エベレストがあり、特別に一年に一回象さんのサッカー試合があり、日本からも参加しています。



私が留学する前の日本人に対してのイメージは毎日ラーメンばかり食べていると思っていました。反対に日本人はインドやネパールの人はカレーばかり食べているとお思いでしょうが、ネパールには色々な民族・服装・言語、食べものがあります。



観光スポットとしてはカトマンズ、ブダストパー、仏さまが生まれたルンビニ、ザナキマンデルはヒンドゥー教を学んでいる人たちが多く来る綺麗な寺院です。又、イラムはネパールで唯一茶葉が穫れる産地です。



高校生の時に社会科目で日本は戦争でボロボロになったのに、なぜ経済発展が出来たのかと興味を持ち、2014年に日本に23歳で留学しました。

ビックリしたのは先ず地震です。危ないというより面白いと感じました。次にネパールでは電車に乗ったことがなかったのに東京の交通機関の発達には素晴らしいと思いました。又、日本に来て初めて温泉に裸で入る事を知りました。箱根に友達と遊びに行ったのですが温泉には恥ずかしくて入れなかったです。食品では生ものや、小さい時から牛肉を食べ慣れていないので困っています。ゴミの出し方や賞味期限などの衛生面にもビックリしました。

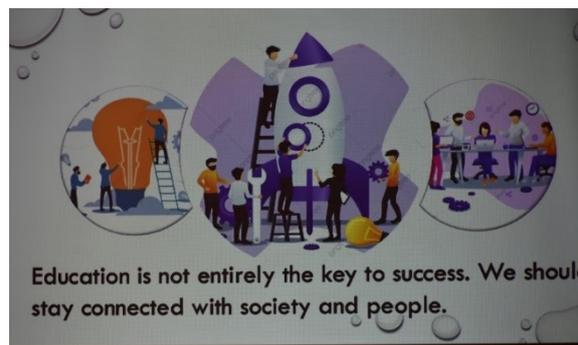


2014年に日本語学校、2016年大東文化大学入学、2017年に東京国際大学に編入、今は同じ大学で勉強して博士を目指しています。生活面ではマナーやおもてなし、頑張る事、時間の有意義な使い方、郷に入れば郷に従い等を学びました。

学習以外の活動として日本の中学生・高校生との異文化交流。福島ボランティアで田植え作業の手伝い。北海道・標津の冬体験と観光プロモーション。留学生国際交流会で発表もしています。



ネルソン・マンデラの言葉で、「人は勉強するだけ、卒業するだけでは意味がない。人というのは社会と繋がらないと勉強しても意味がない。出来るだけ勉強以外でも多く活動してください」と言っています。私も学習だけではなく色々な人と交流して人間関係を学んでいきたいと思えます。宜しくお願い致します。



発行 人間ロータリークラブ

- 事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
- Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
- 例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
- 例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：白幡英悟

